

20

草原を守り、野草堆肥を利用した農産品の流通拡大に向けた活動

- 実施主体 阿蘇草原再生シール生産者の会
- 実施場所 阿蘇郡市内（各牧野、生産者会員の農地）、熊本市など
- 実施期間 平成31年4月～令和2年3月



<背景・ねらい>

- ・草原維持と野草利用の減少が問題となる中、会では自ら野草を刈り、堆肥として利用しながら野菜を育てている。
- ・「阿蘇草原再生シール」を生産した農産物等に貼付することでブランド化し、付加価値を高めて流通を促進させる。
- ・消費者等へむけて、野草の利用が草原再生につながることや草原を守ることの大切さを普及・啓発する。

■実施概要

○農産品の販売

- ・常時販売：ASO 田園空間博物館、四季彩いちのみや等
- ・草原再生PR及び野菜販売会：年12回（計20日）

5/3-5	代理販売（乙姫ハイランドゴルフ場）	5/12	野焼きボランティア20周年記念祭
6/2	阿蘇マルシェ（草原保全活動センター）	7/6-7	つばめ夏祭り（JR熊本駅前）
7/27	世界農業遺産体験ツアー 地とうきびの種まき	8/25	瀬の本マラソン
10/6	阿蘇マルシェ（草原保全活動センター）	10/10-14	食の産直フェア（ゆめタウンはません店）
10/19	世界農業遺産体験ツアー 地とうきびの収穫	10/24-25	阿蘇地域支援広場（びふれす広場）
11/21-22	観光物産展（NTT西日本熊本支店）	11/24	ASO 草原フェスティバル（草原保全活動センター）

- ・ギフト販売（GSコーポレーション） お中元セット
- ・農業体験イベント：「地とうきびの種まき・収穫」7/27・10/19
一般参加者 7月46名、10月22名。
福岡、佐賀、長崎からの参加者もあった。
- ・草原植生調査：8/20
- ・採草活動：11/19 草刈り、11/26 草集め・裁断

○会議への参加

- ・出品者会議8回、定期総会3/16
- ・阿蘇草原再生協議会、小委員会への参加



農業体験イベントの様子

■実施体制

- ・生産者会員19名（昨年+1）、賛助会員19名（昨年+3）
- ・阿蘇地域世界農業遺産推進協会：農業体験イベントの共催
- ・阿蘇地域振興デザインセンター：イベントでの協力・元気再生支援事業
- ・阿蘇テレワークセンター・ASOMO（阿蘇の逸品ネットショップ）：生産者紹介ページのリニューアル、野菜販売開始

■成果

- ・採草面積 町古閑牧野 約2.5ha
- ・農業体験イベントの感想：「阿蘇の自然の美しさ。その草原を守るためにたくさんの人の力が必要なことを知り、守りたいと心から思った」
- ・植生調査を8年行い、毎年草刈りをする草原では花序の数が増え種類も増える傾向がみられている。
- ・活動の理解者が増え、生産者会員1名、新規賛助会員が3名増えた。



草原再生シール

■実施者の感想

- ・野菜販売の要望に応えられるよう、体制を強化していきたい。
- ・会の理解者をさらに増やし、ブランド価値を上げ、会員増・売り上げと知名度の向上をめざす。
- ・今後も引き続き草原再生のPR及び、採草面積拡大に取り組む。
- ・SNSなどのインターネット媒体を利用した、情報発信を強化したい。